塔本　博　（とうもと　ひろむ）

高20期
自営業（有限会社　登美屋書店）
同窓会役員・硬式野球部OB

登美丘高校でよかった！

物心つくかつかないかの頃「登美丘」に移り住み、以来ずっと60数年「登美丘高校」を見てきました。野球が好きで夏の大会は小学生から応援について行っていたので自分が高校生になるときは何の迷いもなく登美丘を受験しました。今なら高野連からお咎めがある入学前に練習参加、新学期には馴染んでいたので同級生に敬語を使われました。　家が近かったので朝予鈴が鳴ってから登校、帰宅は誰よりも早く、練習時間は充分ですべて野球中心の3年間でした。よい先輩・同級生・後輩に恵まれ卒業してからも交流が続き未だ青春の真っただ中といったところです。

それというのも、この「登美丘高校」の歴史・校風に寄り集う皆が純粋・まじめでおおらかで元気いっぱいの心を持ち続けているからだと思います。クラブ員・帰宅部生にかかわらず学年の隔てもなく交流し続けられる「空気感」いつの時代になっても変わらなく漂っている「登美丘高校」いいですね。

そうさせてくれるのも、歴史のあるこの「登美高」に引き寄せられ集まってくる先生・生徒・卒業生すべてが「登美丘高校でよかった」と感じてくれているからだと思います。いまでは、登美丘高校といえば「あのダンスの・・」と有名になりましたが、過去に近くの人がパーティーで知り合った人に最寄駅北野田と話したらその人は登美高卒業生で「あんたのこと知ってたで」と話題に上がったと教えてくれました。全然学年の違う方だったのでビックリ、どこでだれと「登美丘高校」でつながってくるかわかりません。良くも悪くも地域で登美高生は注目されています。いたる所に登美高につながる関係者はいます。

ですから、在校生もこれから入ってくる新入生もはっきり「登美高生です。」と言ってください。「登美丘高校に来てよかった。」と言ってくださいそうすれば、おのずと卒業してから「登美丘高校でよかった」と思えるように必ずなります。誰かがどこかで「登美高生」を見守っていてくれています。そのことを次の世代へつないでいって、そして次の 100 年の礎を作り上げていってください。
100 周年、本当におめでとうございます。

■プロフィール

1954 年 3 月 6 日生　河内長野市生まれ

1972 年 3 月登美丘高校卒業

1973 年 12 月硬式野球部監督就任以降 7 年間後輩の指導に当たる

1976 年 5 月有限会社登美屋書店（家業会社化）設立代表取締役就任現在に至る

2008 年 6 月同窓会役員就任